

【実施区域・面積】

群馬県、 1.1ha

【生態系タイプ】

創出緑地

【実施区域の状況】

本サイトは弊社が環境問題に取り組みのシンボルとして、また地域社会とのコミュニケーションの拠点として弊社藤岡事業所の敷地内に設置したビオトープ。ビオトープは北関東平野部の里山環境の再生を目標に、水辺・草地・樹林の各ゾーンから構成され、散策路や東屋等が整備されており、多様な生態系が広がっている。林には、カブトムシやクワガタムシが、池や小川にはヤリタナゴ、メダカ、トンボ、タニシ、カエル等の多種多様な生物が集まり生息している。

【目標】

- ・ビオトープを適切に育成管理することで地域周辺で失われつつある自然環境を復元する。
- ・ビオトープを活用した様々な取り組みを通じてネイチャーポジティブな活動を展開する。

【主な活動内容】

- ・アサザ、ササバモ、ヤリタナゴなど周辺地域で絶滅の危機に瀕している動植物の緊急避難場所として機能している。
- ・「環境教育等における体験の機会のある場」に認定されており、地元小学校の環境学習を受け入れている。
- ・社員の休憩やレクリエーションの場として活用するほか、定期的な一般開放を行っており地域貢献の役割も担っている。

【モニタリング計画】

- ・植物相調査：毎年（3月～12月にかけて月1回実施）
- ・毎木調査：5年毎（2017年と2022年に実施）
- ・昆虫調査：5年毎（2016年と2021年に実施、4月～11月にかけて月2回）

【実施体制】

担当部門が年間活動計画を作成し、関係者と連携し上記モニタリング調査を実施する。
動植物の出入りは基本的には自然遷移に委ねているが、上記モニタリング調査の結果に基づいた管理作業を行う。（人が適切に手を差しのべる「育成管理」を実施している）



サイト全景



小学生の環境学習（ネイチャーゲーム）の様子

【計画期間】

令和7年9月～令和12年8月